

【工事看板】

① 「依頼局」欄は、横浜市の工事依頼部署を記入してください。
 工事依頼部署は「発注者」ではないので、作成の際は確認してください。
 工事依頼部署は物件によって変わるので、公社担当者に確認してください。

② 「発注者・工事監理」欄は、“公益財団法人横浜市建築保全公社”と記入してください。

工事件名	※契約書の工事件名
工事期間	平成〇〇年〇月〇日から平成〇〇年〇月〇日まで
工事場所	※契約書の工事場所
依頼局	※工事依頼部署
発注者・工事監理	公益財団法人横浜市建築保全公社
請負人	〇〇〇〇株式会社 現場代理人 保全太郎 連絡先 ※緊急連絡先

【再下請負通知書を元請負人に提出すべき旨の掲示】

下請負人がいる場合は再下請負通知書を元請負人に提出すべき旨の掲示してください。
 掲示と合わせて、書面での通知もお願いします。 ※寸法の規定はありません。

(例) 下請負人となった皆様へ

この〇〇工事の下請負人となり、その請負った〇〇工事を他の建設業を営む者に請け負わせた方は、遅滞なく、建設業法施行規則（昭和24年建設省令第14号）第14条の4に規定する再下請負通知書を提出してください。一度通知した事項や書類に変更が生じたときも、変更の年月日を付記して同様の書類の提出をしてください。 〇〇〇〇株式会社

【掲示物の掲示場所】

「公衆の見やすい場所」

1) 工事看板 2) 建設業の許可票（元請、下請全ての許可票） 3) 施工体系図

「工事現場の見やすい場所」

1) 施工体系図 2) 労災保険関係成立票 3) 再下請負通知書を元請負人に提出すべき旨の掲示
 4) 建設業退職金共済（建退共）制度適用事業主の現場標識

※施工体系図は「公衆の見やすい場所」と「工事現場の見やすい場所」の両方に掲示してください。
 ※掲示場所が狭い場所などは、「公衆の見やすい場所」に全て、まとめて掲示する事も可能です。
 ※技術者台帳は掲示しないで、施工体制台帳と同じファイルに綴じてください。

【社会保険加入促進に向けた取り組みの強化について】

横浜市は平成30年4月1日から、社会保険等未加入建設業者（未加入業者）を一次下請の相手方としてはならないとする対応を、二次以下を含む全ての下請に拡大します。
 横浜市建築保全公社も同様の取扱いとなりますのでご注意ください。

発行・編集：公益財団法人 横浜市建築保全公社 技術管理課



Fellow's Report

=ものづくりの仲間から=

《平成30年4月》

《創刊号》

工事現場に掲げる標識類について

平成29年度の安全パトロールの際に不備が確認された内容についてお知らせするとともに、ご留意いただきたいポイントについて掲載しますので、改めてご確認ください。

建設業の許可票			
商号又は名称			
代表者の氏名			
監理主任	技術者の氏名	専任の有無	
	資格名	資格者証交付番号	
一般建設業又は特定建設業の別			
許可を受けた建設業			
許可番号		許可()第 号	
許可年月日		平成 年 月 日	

【建設業の許可票】

① 寸法は縦25cm以上×横35cm以上です。
 ※複数の下請負人がいるため、A5サイズ版を掲示している例が見られますが、建設業法施行規則で標識の寸法は決められています。

② 「専任の有無」欄は、「専任」または「非専任」と記載してください。
 ※「有」又は「無」と記載しているケースがありましたが、誤りですのでご注意ください。

③ 掲示は元請の会社のみならず、下請の会社が建設業許可を得ている場合は掲示してください。
 元請が協同組合の場合、協同組合と組合員の掲示が必要です。

労災保険関係成立票			
保険関係成立年月日	平成 年 月 日		
労働保険番号			
事業の期間	自 平成 年 月 日	至 平成 年 月 日	
事業主の住所氏名			
注文者の氏名			
事業主代理人の氏名			

【労災保険関係成立票】

① 寸法は縦25cm以上×横35cm以上です。
 ※建設業法施行規則で標識の寸法は決められています。

② 「事業主代理人の氏名」欄は、現場代理人の氏名を記載する欄ではありません。
 労災保険代理人選任届により、事業主の代理として労災保険の手続きをしている方の氏名を記載してください。
 事業主代理人を選任していない場合、この欄は空欄となります。

【施工体系図】

事業場の常時従事する労働者数によって、作成の仕方が変わってきます。

保全公社の工事で多い「労働者数が常時 10 人未満を従事させる事業場」の施工体系図（参考例）を掲載しますので、参考にしてください。

【労働者数が常時10人未満を従事させる事業場】

施工体系図（参考例）

発注者名	公益財団法人 横浜市建築保全公社
工事名称	〇〇〇〇工事 ※契約書の工事名称

工期	自	年	月	日
	至	年	月	日

※一般に、「工期」とは契約日から完成期限までを言います。

元請名	※請負人の会社名
監督員名	※現場代理人
監理技術者名 主任技術者名	※選定通知書の記載名
専門技術者名	※必要に応じて記入
担当工事内容	※必要に応じて記入
専門技術者名	※必要に応じて記入
担当工事内容	※必要に応じて記入

安全衛生推進者
※記入

※安全衛生推進者（あんぜんえいせいすいしんしゃ）とは、中規模な事業場において、その事業場の安全・衛生に関する事項を統括管理する者です。

（一次下請）

配管 工事	会社名	※一次下請負人名
	安全衛生責任者	※選任する
	主任技術者	※選任する
	専門技術者	※必要に応じて記入
	担当工事内容	※必要に応じて記入
工期	年月日 ~ 年月日	

（二次下請）

保温 工事	会社名	※二次下請負人名
	安全衛生責任者	※選任する
	主任技術者	※選任する
	専門技術者	※必要に応じて記入
	担当工事内容	※必要に応じて記入
工期	年月日 ~ 年月日	

下請負人が請け負った建設工事の
契約書に記載された工期を記入

**その他の
一次下請**

警備	会社名	※一次下請負人名
	安全衛生責任者	-
	現場責任者	※選任する
	専門技術者	-
	担当工事内容	-
工期	年月日 ~ 年月日	

塗装 工事	会社名	※二次下請負人名
	安全衛生責任者	※選任する
	主任技術者	※選任する
	専門技術者	※必要に応じて記入
	担当工事内容	※必要に応じて記入
工期	年月日 ~ 年月日	

警備業者については、市では施工体系図への記載を求めていますので、保全公社においても、会社名、現場責任者名、工期の記載をお願いします。